



# 菊武学園フラッシュニュース

## 大阿闍梨が命と教育を語る 学園創立 70 年の特別講演



(厳しい修行を語る大阿闍梨の塩沼住職)

千日回峰行を達成された慈眼寺(仙台市)住職の大阿闍梨、塩沼亮潤住職を講師に招いた「菊武学園創立 70 周年記念特別講演」が、2019 年 1 月 12 日、名古屋産業大学文化センター大ホールで開かれました。



(悟りの神髄に大勢の聴講者が引き込まれる)

塩沼住職は「極限の世界で見つけた人生の歩み方と教育」と題して講演され、学園教職員、一般市民ら約 200 名が聴講し、悟りの講話に聞き入っていました。

19 歳で仏門に入った後、1 日 48 キロの山道を 1000 日間歩き続ける「千日回峰行」を達成されました。厳しい修行から、常に周りの人だけでなく、木々や空気など自然にも感謝の気持ちを持って過ごすことの悟りを、分かりやすい言葉で語りかけられました。

## 学園の海外交流 50 周年も祝う



(海外姉妹校と記念品の交換)

創立 70 周年の祝典と同時に、学園の海外交流 50 周年の祝いが、記念式典の後、名古屋市のホテルで開かれました。



(提携交流のパーティ)

海外姉妹校の代表 50 名と高木弘恵理事長ら計 80 名が参加し、今後さらに提携を深めることを確認しました。

台湾・育達学園と姉妹校提携を結んで 50 周年になるほか、韓国・鳳徳学園とは 34 周年、台湾国立体育大と 4 周年になりました。

## 名産大スケート部 2 選手 国体ショートトラックで 3 位



(山田選手=左と高野選手)

名古屋産業大学スケート部の高野晃生選手と山田拓夢選手(ともに

3 年)が、2019 国体冬季大会(北海道釧路市)のショートトラック競技 5000 米リレーで、3 位に輝きました。

## 菊武学園創立 70 周年を盛大に祝う

### 高木理事長が感謝の言葉と未来への誓い

愛知 三重県知事 名古屋市市長 前文科副大臣 映像メッセージ



(王育文育達学園の理事長が祝辞)

学校法人菊武学園創立 70 周年を祝う記念式典は、2018 年 11 月 16 日、名古屋・名駅近くの「ストリングスホテル名古屋」で、盛大に執り行われました。



(感謝の言葉を述べる高木理事長)

学園関係者をはじめ海外姉妹校の幹部ら約 300 名が参加しました。高木弘恵理事長は「学園が 70 周年を迎えられたのは皆さまのおかげ。100 周年にめざして頑張ります」と、感謝の言葉を述べました。



(琴と尺八の演奏で祝いの曲が流れる)

海外姉妹校の台湾・育達科技大学の王育文理事長が、来賓を代表して「菊武学園の長い歴史に敬意を表します」と祝辞を述べ、大村秀章愛知県知事、河村たかし名古屋市市長、鈴木英敬三重県知事、丹羽秀樹・前文科副大臣からのビデオメッセージが会場に映し出



(特別表彰された青木監事と山岸校長)



(学生・生徒・園児による誓いの言葉)



(岡谷理事の乾杯で祝賀パーティ開幕)

されました。また、長年にわたって学園への功績を称え、70 周年特別功労賞が、菊武学園の青木修監事と菊華高等学校の山岸鳴門校長に贈られました。

続いて、菊華高校の米木綾教諭、服部元彦教諭が、琴と尺八で祝いの曲を力強く演奏し、式典を盛り上げました。最後に大学から幼稚園までの学生、生徒、園児ら 7 名が、70 年の伝統の継承と未来の躍進を誓いました。

その後、会場をホールに移して祝賀パーティが開かれました。学園理事で前名古屋商工会議所会頭、岡谷鋼機社長の岡谷篤一様のご発声で乾杯、華やかな雰囲気の中、手品師のパフォーマンスを楽しみ、学園の発展とともに歩んできた出席者は、思い出に花を咲かせました。

## 70 周年で学園物故者法要



学校法人菊武学園で長年にわたって教育や運営に携わり、2009 年からの 10 年間に、逝去され

た方を偲んで物故者慰霊法要が、学園創立 70 周年を機に、2018 年 11 月 10 日、学園発祥の地に近い名古屋市東区の建中寺でしめやかに執り行われました。